

安全宣言

我が国の労働災害は、長期的には減少し、平成二十七年は統計を取り始めて以来初めて、年間の死亡者数が一〇〇〇人を下回った。

これは産業安全に携わった多くの先人が、たゆみなく安全活動を展開した結果得られた画期的な成果と言える。一方、経験が浅い労働者が、職場に潜む危険を察知できないことなどを背景として、休業災害を含む労働災害全体の数は十分な減少傾向といえない現状がある。

宮崎県内においては、平成二十七年の労働災害による死亡者数は前年比一人減の十四人で、休業四日以上以上の死傷者数は前年比十四人減の千二百八十五人であった。本年は既に、五人の方が亡くなり、休業四日以上以上の死傷者数は前年比二十七人増の五百二十人（六月末日現在）と労働災害の増加が懸念される。

わが佐土原地区安全衛生協議会においては、三十余年わたる安全衛生活動で構築した当協議会の安全文化を更に発展させていかなければならない。

こうした状況を踏まえ、会員の職場において全員参加で危険箇所を見つけ出し、必要な対策を講じるとともに、職場で働く方々の安全意識を高め、安心して働ける職場づくりを目指すものである。

本日の安全大会を契機に心を新たにし、

「見えませんか？ あなたのまわりの見えない危険

みんなで見つける 安全管理」

をスローガンに職場における安全衛生管理を一層向上させることに全力を尽くすことを誓う。
右、宣言する。

平成二十八年七月十五日

宮崎県佐土原地区安全衛生協議会